



京都大学

ジュニアキャンパス2007

高層マンションは大丈夫？ —メキシコ地震に学ぶ—

9月30日 BC2 10:30～15:30

スケジュール

10:30～10:40 挨拶・デモ実験

10:40～11:10 講義その1：
高層マンションは大丈夫？メキシコ地震に学ぶ

11:10～12:00 班ごとに自己紹介
模型設計／製作

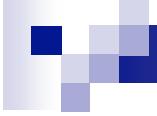
12:00～14:00 休憩

14:00～14:30 模型制作の続き

14:30～15:00 振動実験：揺れを計測しよう
講評

15:00～15:25 講義その2：被災者のこと、メキシコ建築のこと

15:25～15:30 アンケート記入

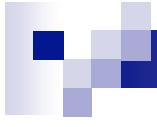


1995年1月17日 AM5:46

淡路島を震源地とする
マグニチュード7.2の大地震が発生。

耐震性が高いと言われていた
コンクリートや鉄骨の建物も壊れた。

震災のあと、ビルやマンションは
むしろ高く大きくなっている。



こんな高いマンションを建てて
大丈夫？

結論：

阪神淡路大震災を超える巨大
地震でも倒壊はない。

多分。



でも何だか心配。本当に大丈夫？

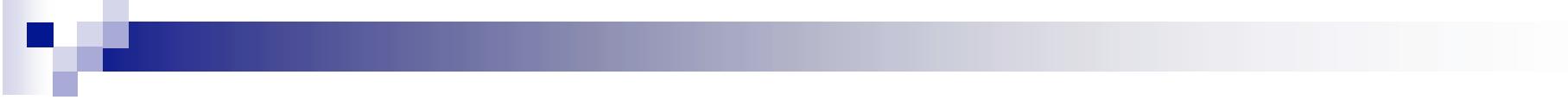
地震の揺れ方によっては

高層マンションに

大きな損傷が出る恐れも。

家具が倒れて

大ケガをする恐れも。



実は高い建物は、ゆっくり揺れる地震に弱い。
ゆっくりユ～ラユ～ラ揺れた地震で有名なのが

1985年9月19日メキシコ地震

1985年9月19日メキシコ地震

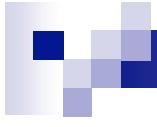
- マグニチュード 8.1
- 被害は首都メキシコ市に集中
- 死者約1万人(正確な数は不明)
- 震源はメキシコ市の北西330km
- 倒壊・大破した建物の6割が6階～15階建

メキシコ地震と阪神大震災

| | メキシコ市 | 阪神・淡路 |
|---------|-----------|---------|
| マグニチュード | 8.1 | 7.3 |
| 震源 | 330 km北西 | ほぼ直下 |
| 震度 | 5強(メキシコ市) | 7 |
| 最大加速度 | 168 gal | 818 gal |



メキシコの建物はそんなに壊れやすい？

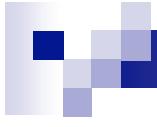


1985年の地震調査団の話

「メキシコ市は**近代的防災都市**」
防災施設が充実し、市民のボランティア意識も高い

被災した10階建ホテルの鉄筋強度をテストしたら
「日本の鉄筋のなんと**2倍**の強度」

メキシコは**地震防災ハイテク国家**



そのメキシコでなぜ大被害？

そのカギは揺れの間隔＝周期に

メキシコ市

阪神・淡路

揺れの間隔

2秒

0.9秒



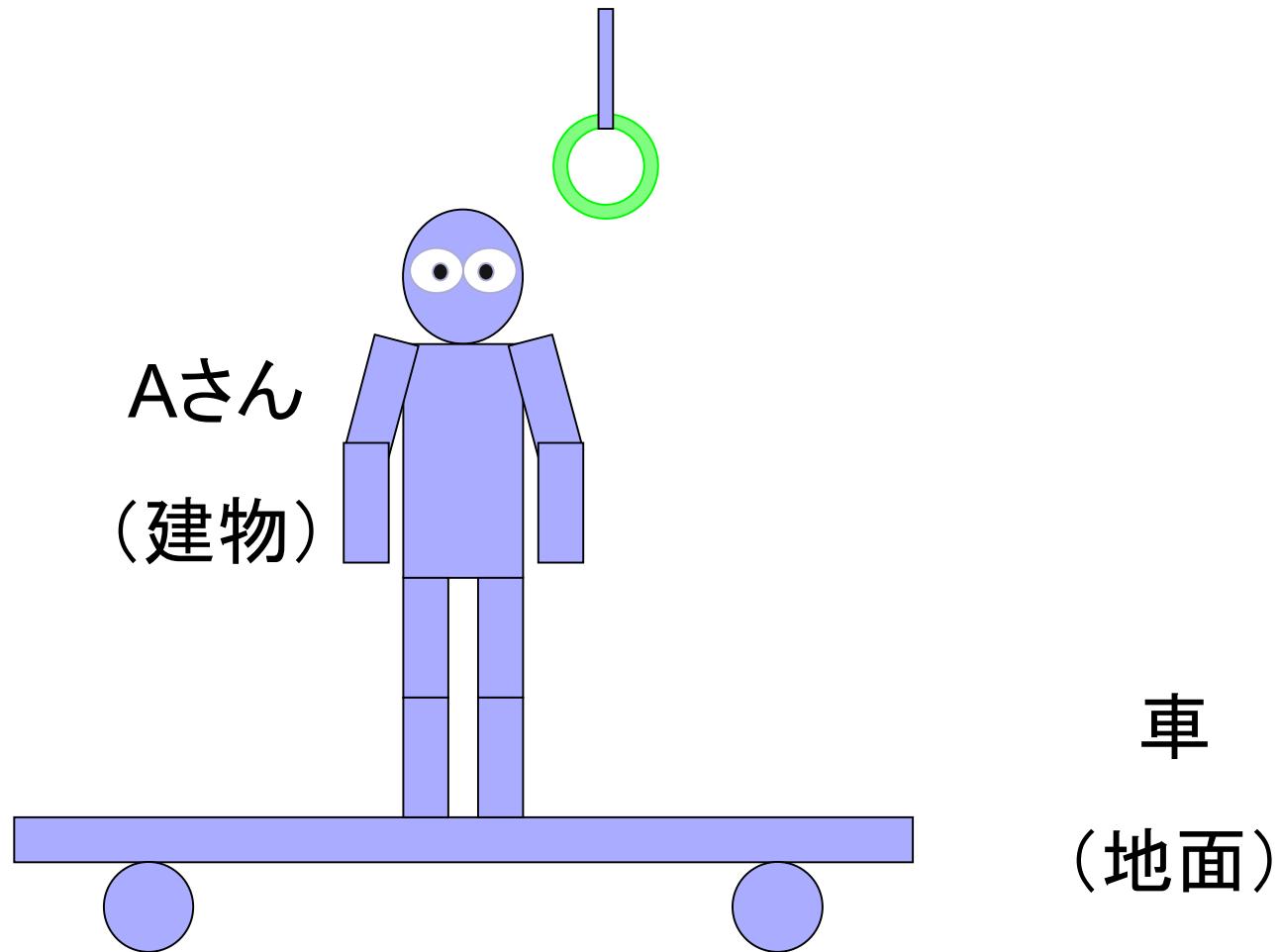
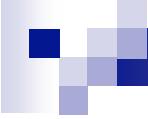
ここで、「周期」の説明をする前に、
なぜ地震で建物が壊れるのか考えてみよう。

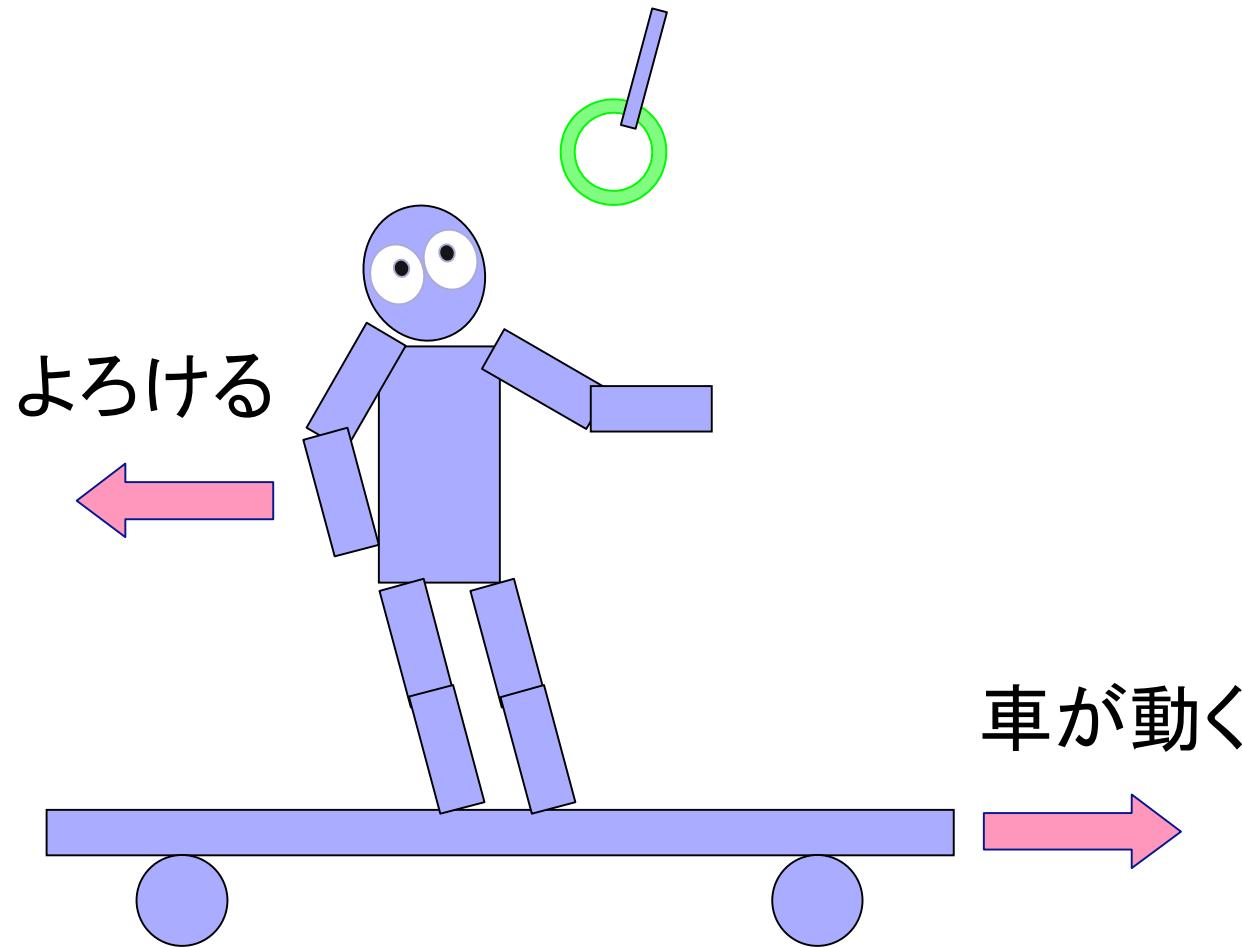
慣性力と復元力

例：電車が急に発車すると、
立っている人は転びそうに。

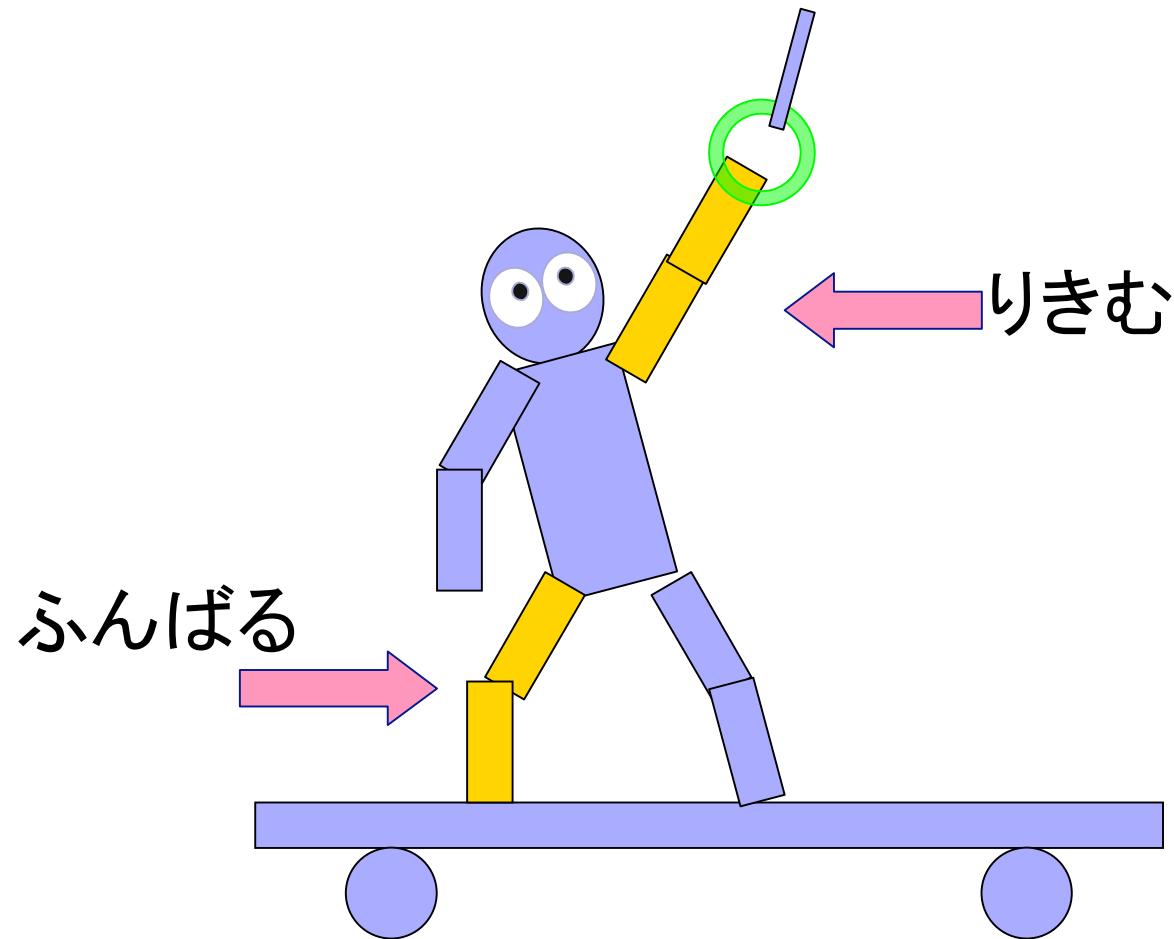


踏ん張る

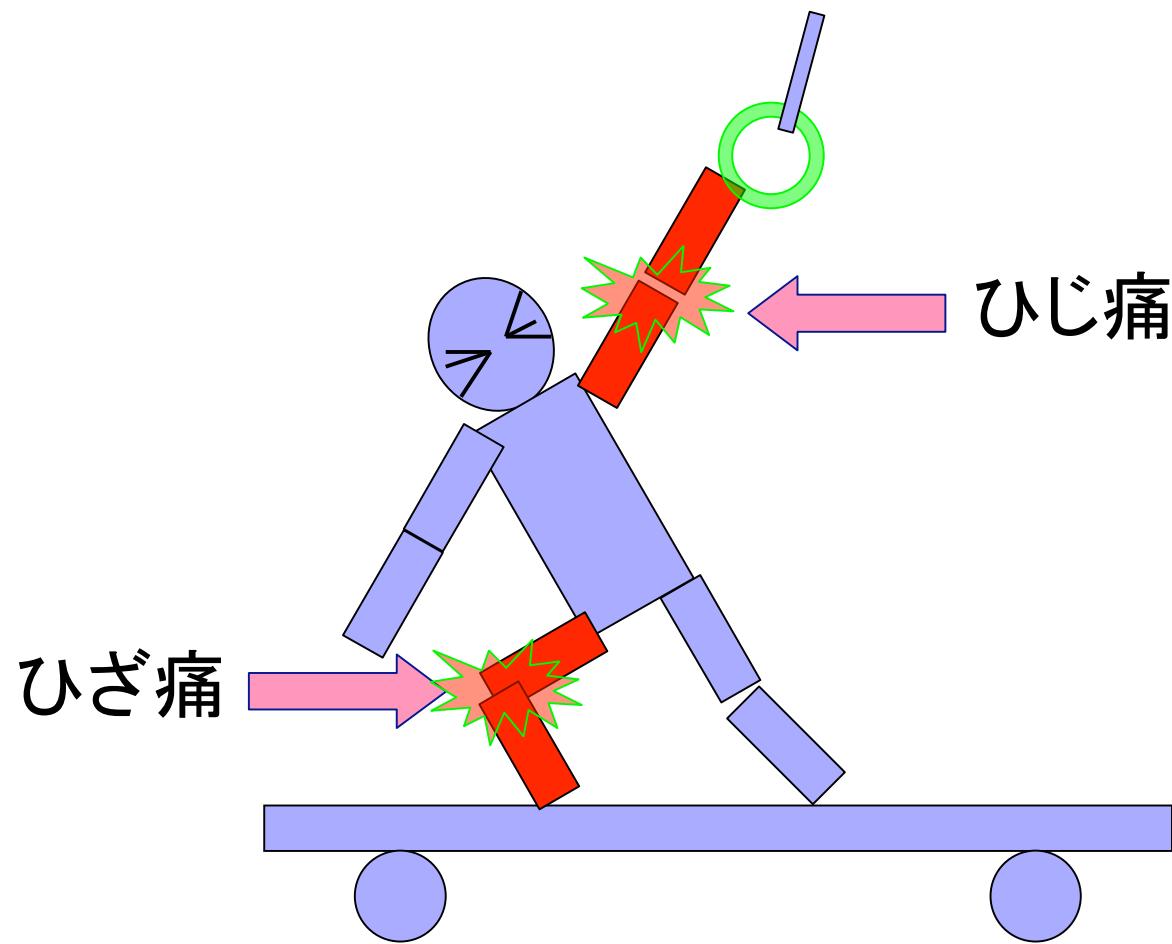




「よろける」=慣性力のしわざ



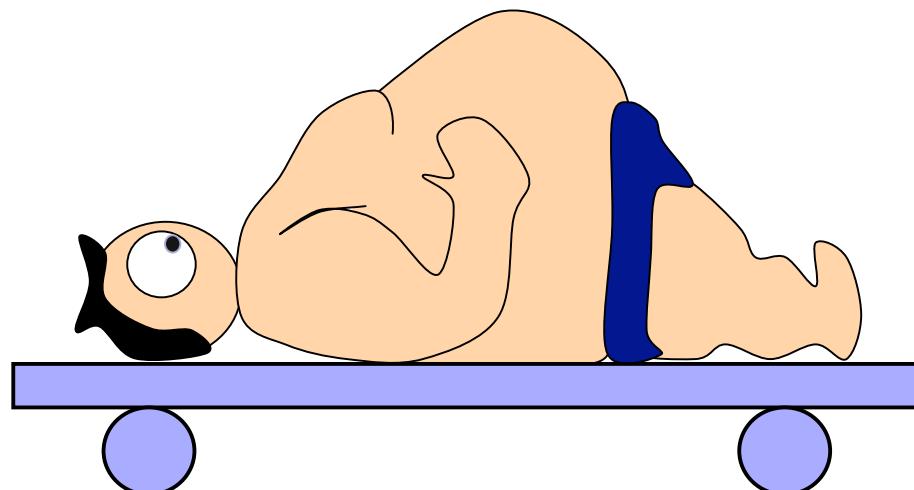
「りきみ」「ふんばり」=復元力



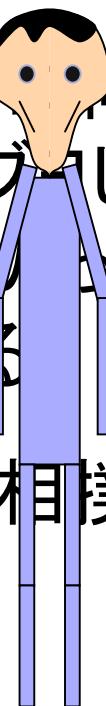
体の痛み・ケガ＝損傷

揺れがさらにひどくなる場合がある。

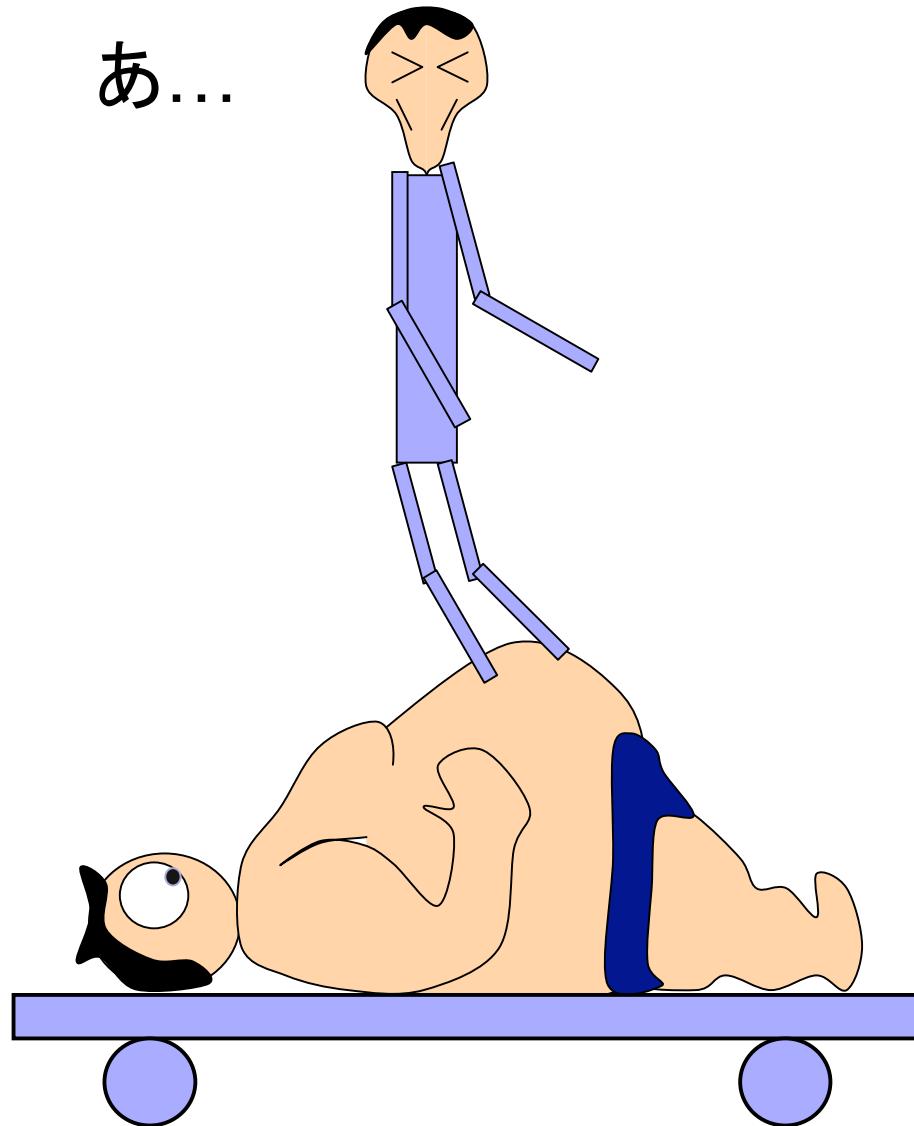
長身で痩せた人
が乗るとする。

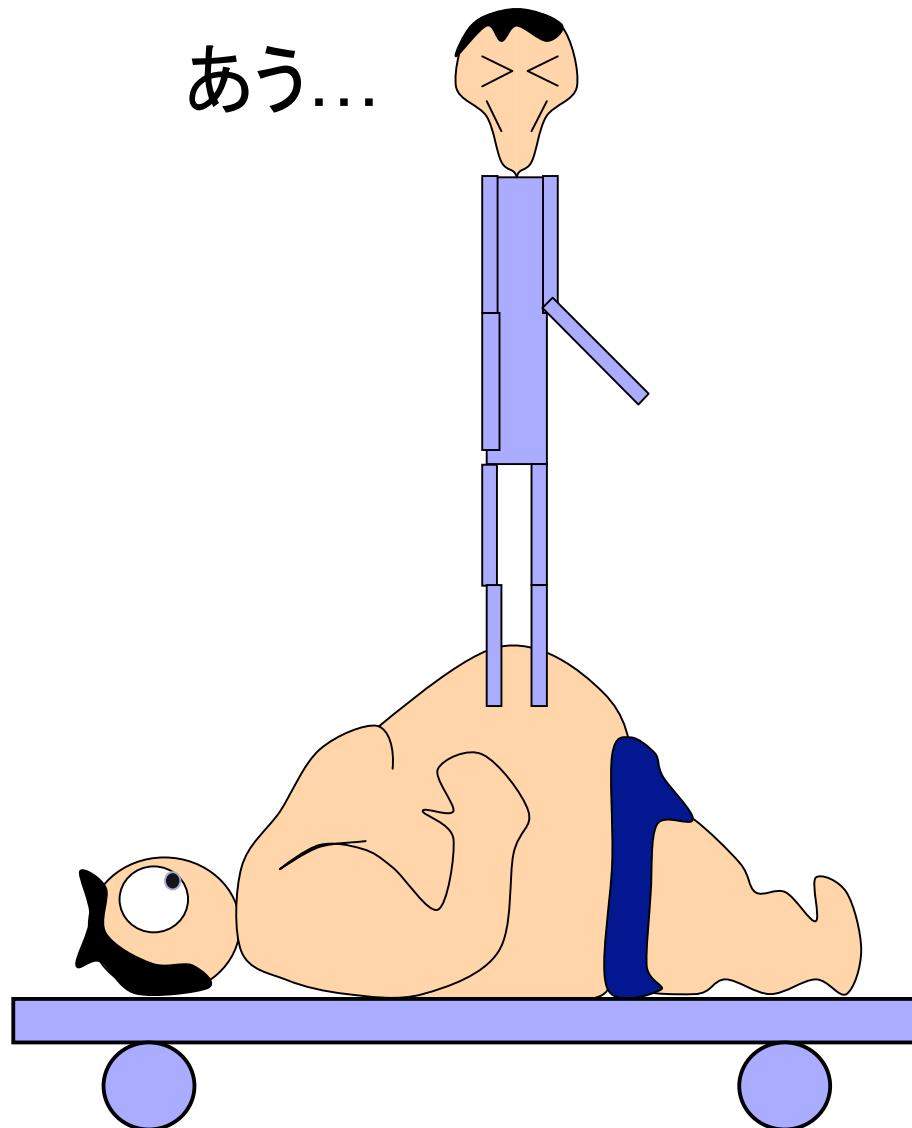


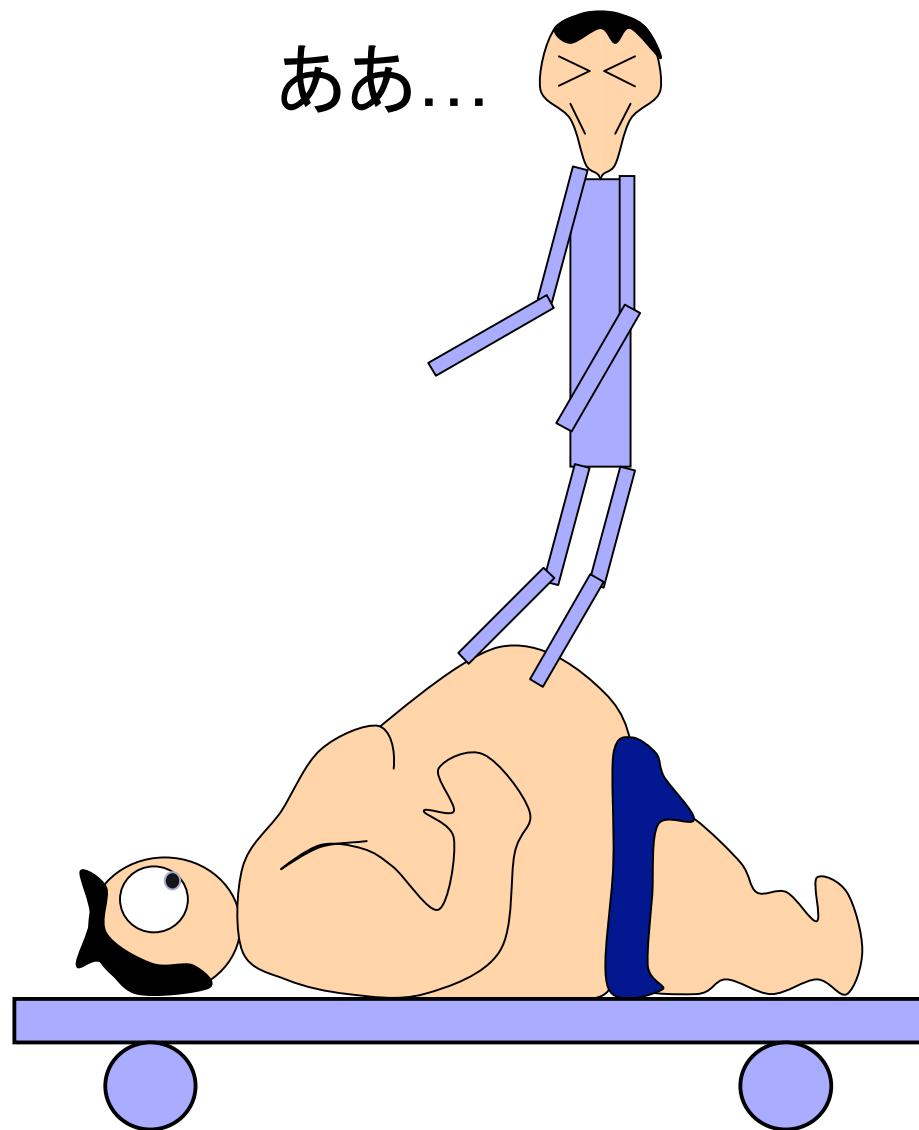
台車の上に阿
だかブヨブヨし
たものが乗って
いるとすると
例えばお相撲さ
んの腹



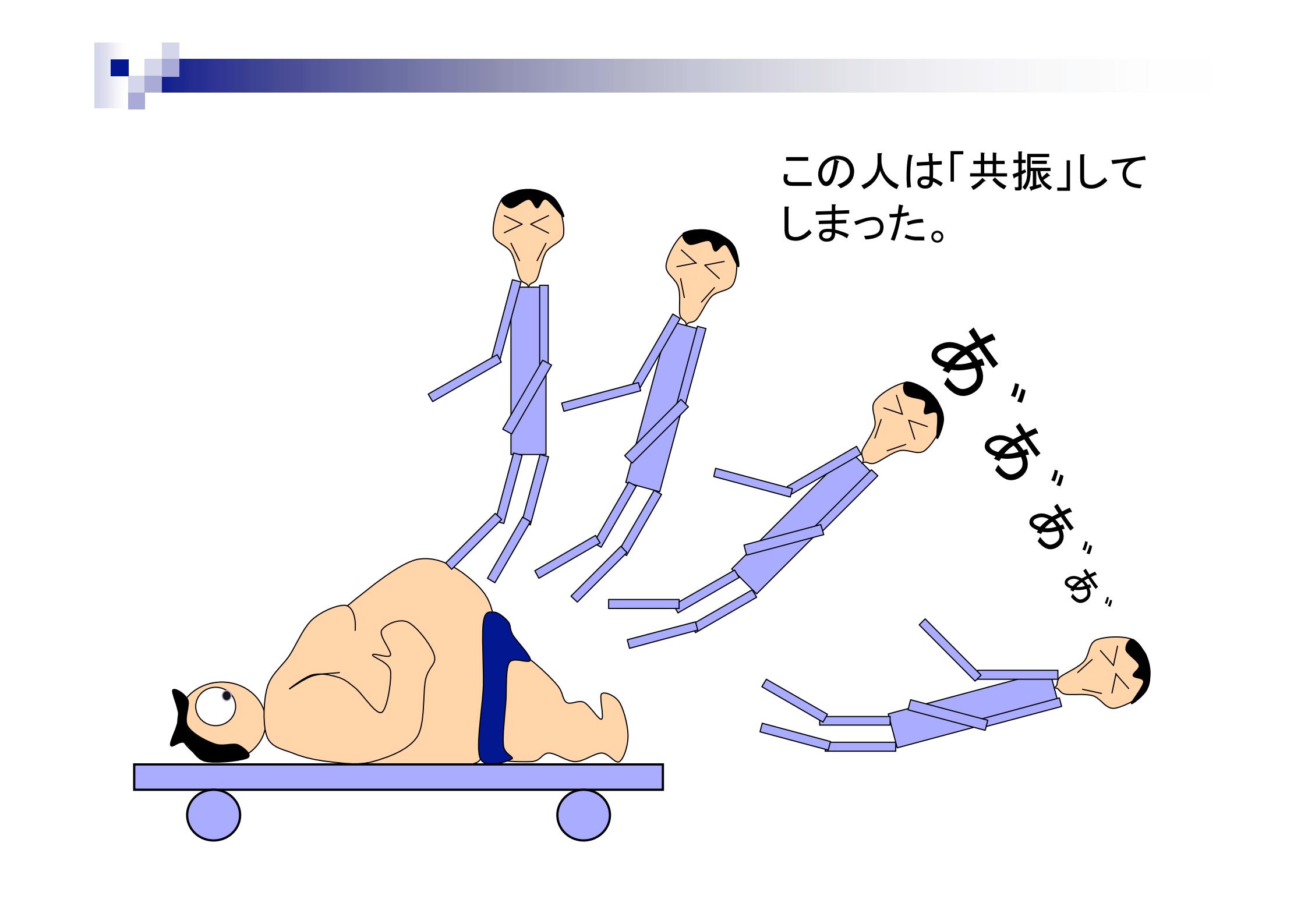
あ...



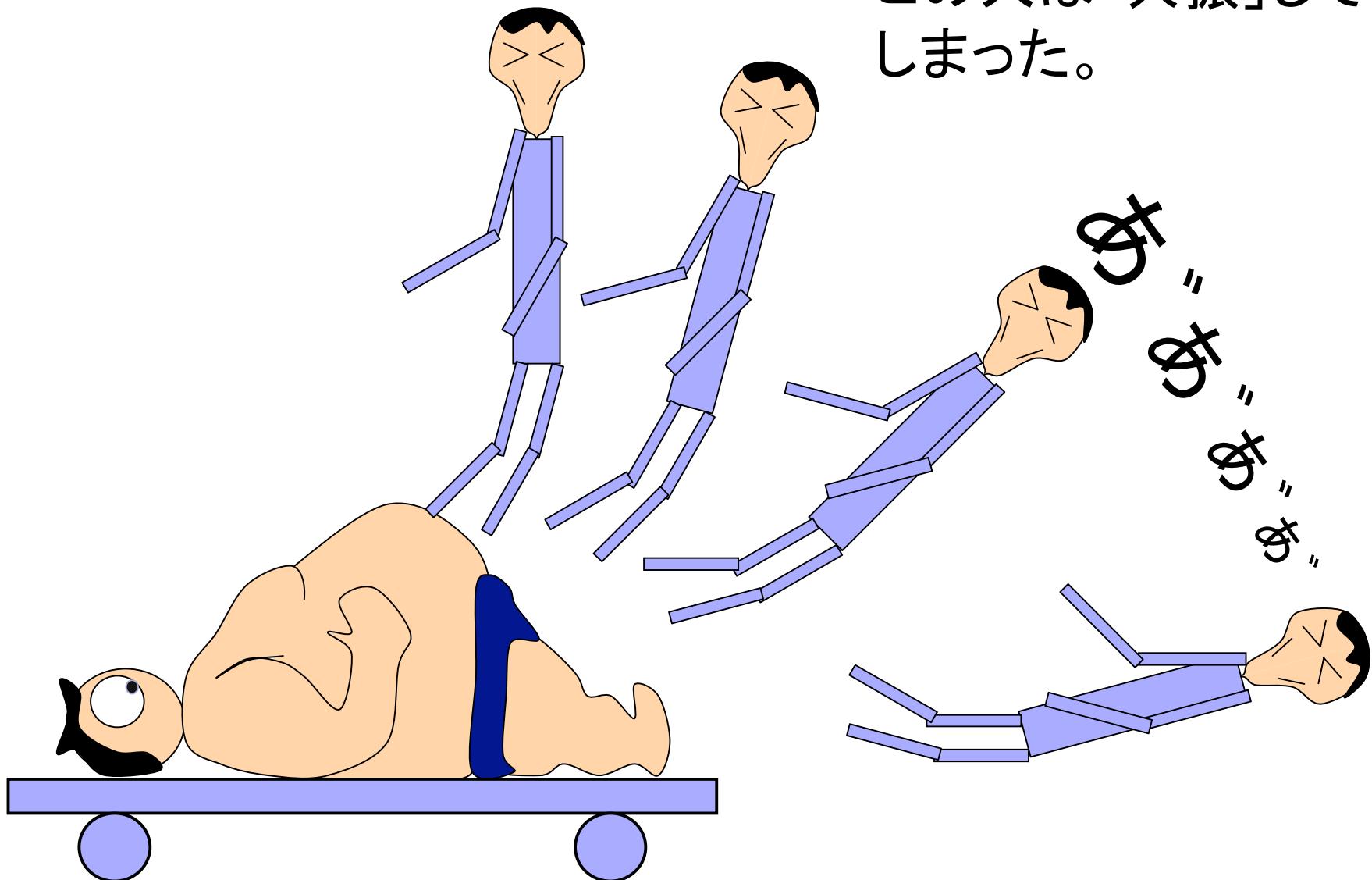




ああ...

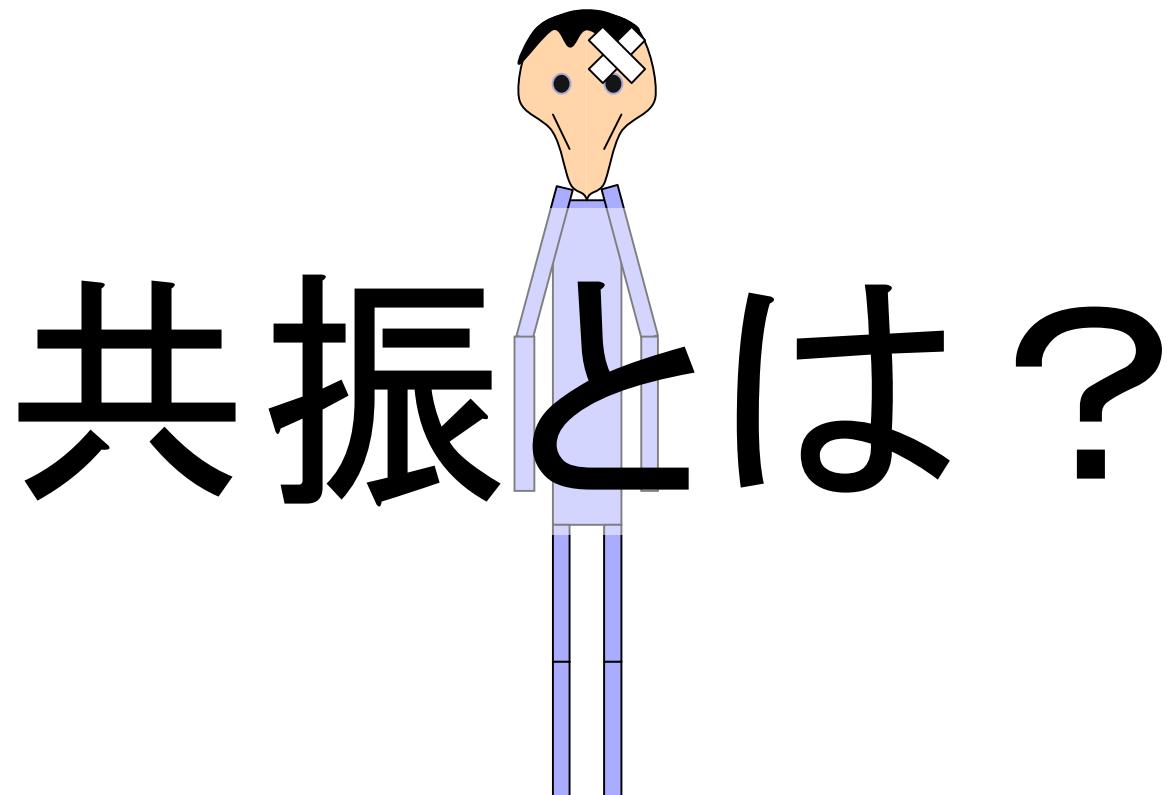


この人は「共振」して
しまった。

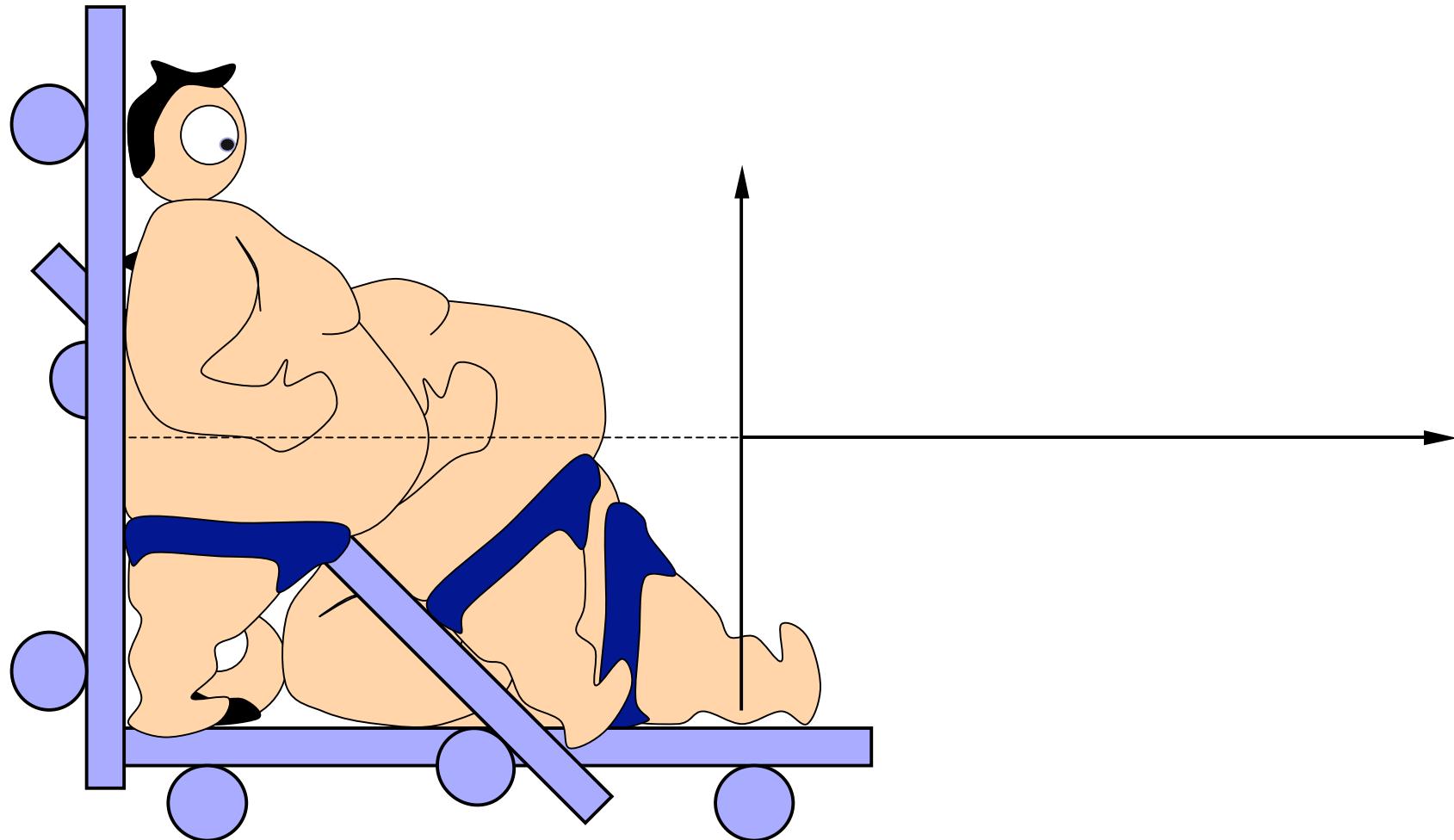


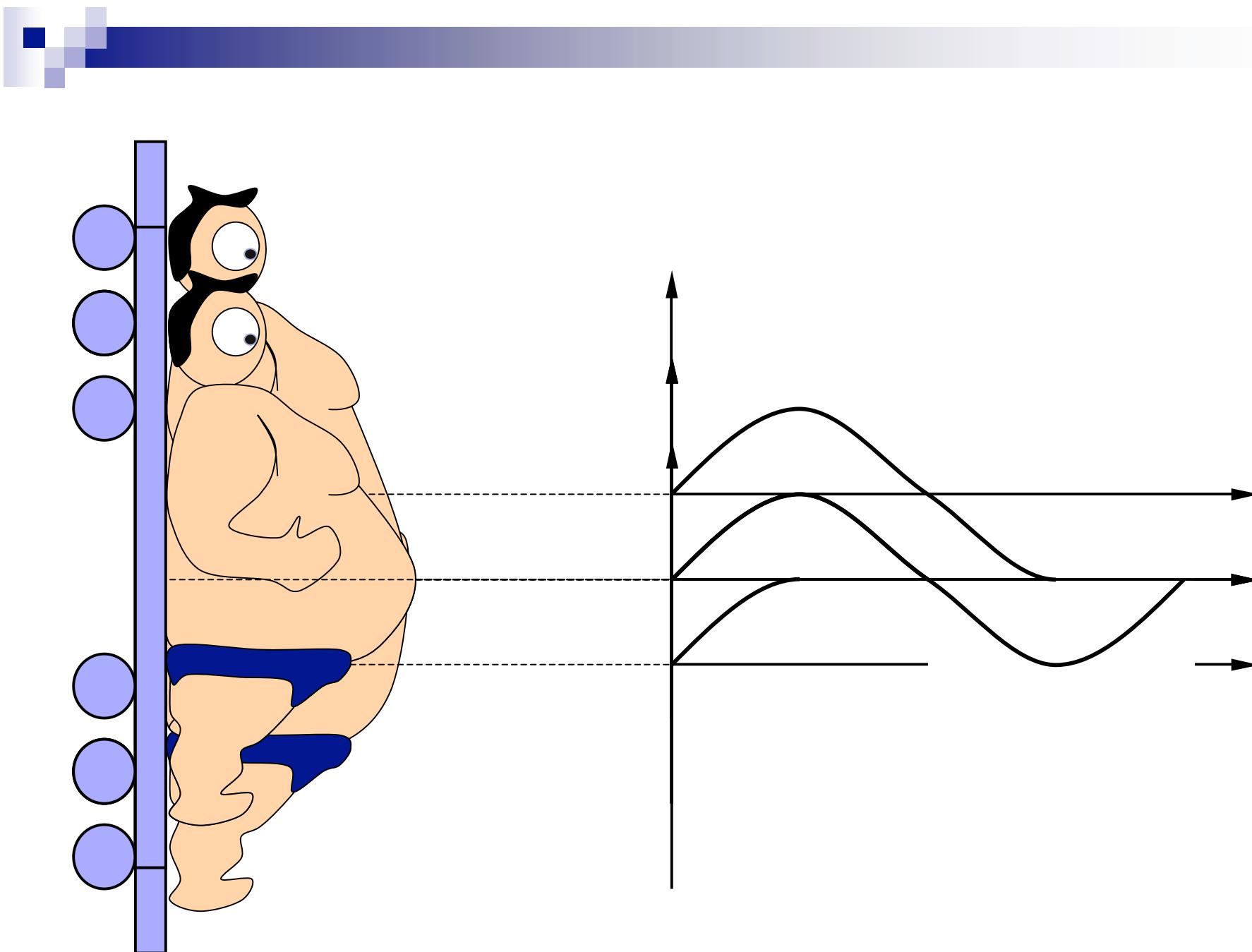


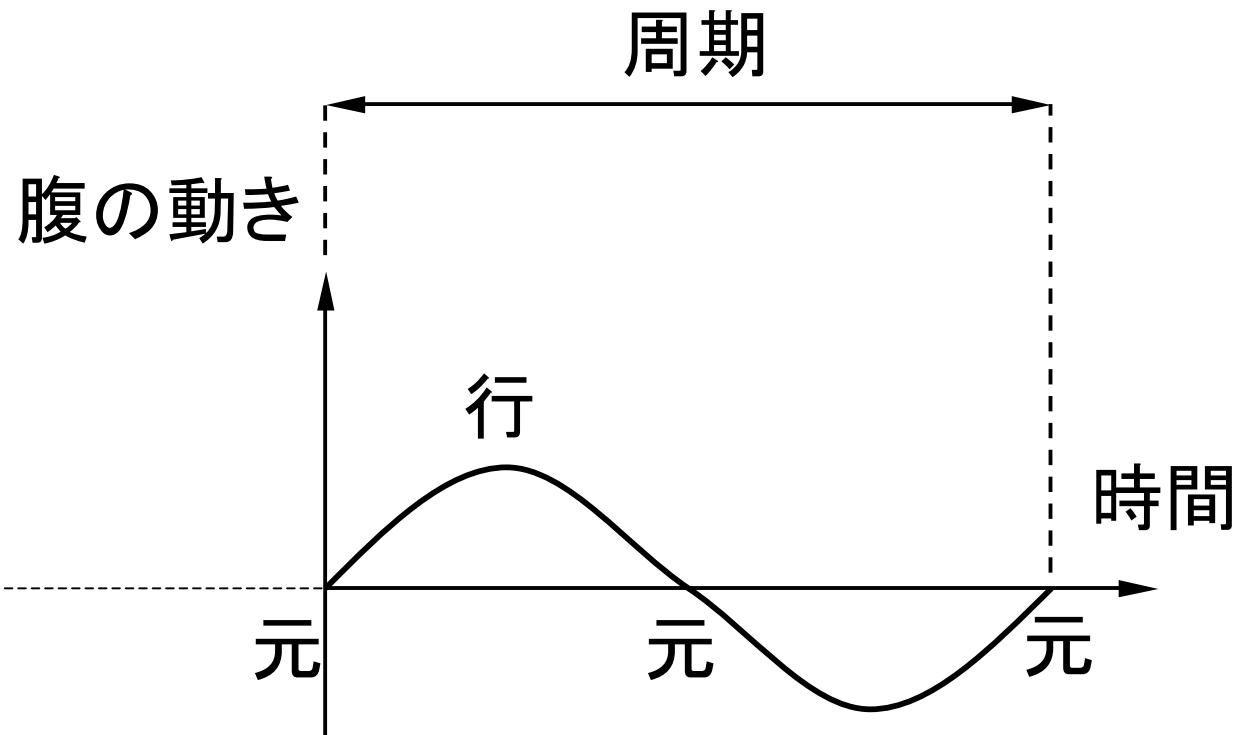
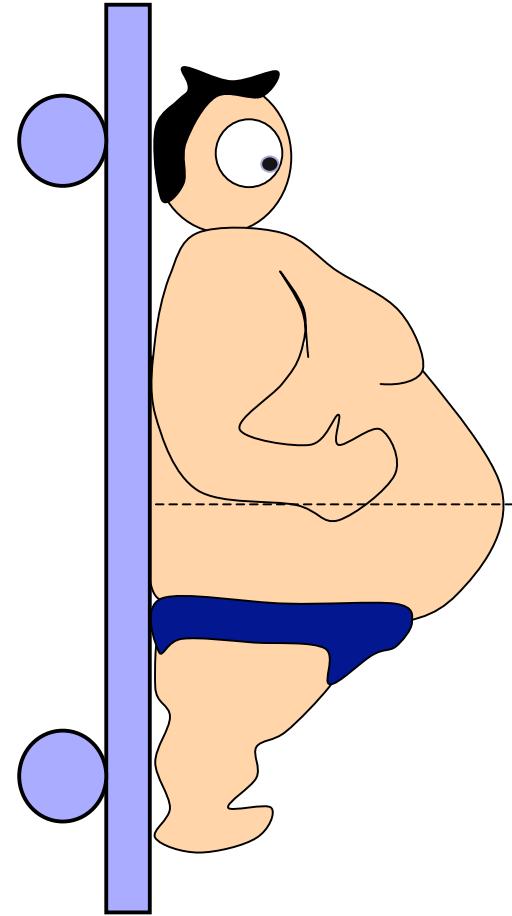
長身で痩せた人



お相撲さんの腹の動きを見よう







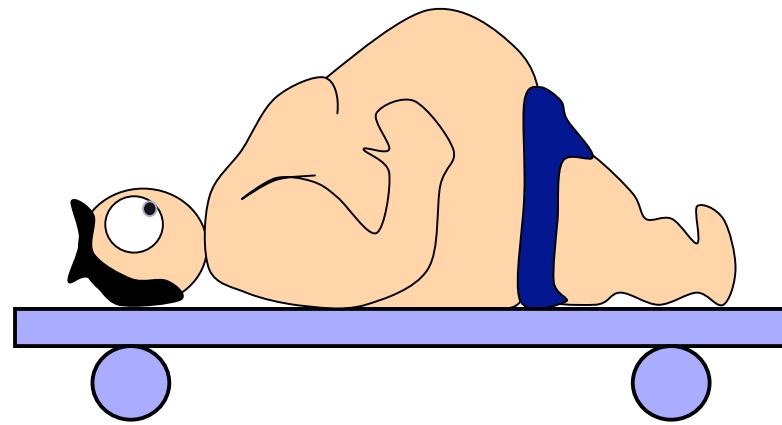
元の位置→行→元→戻→元

この時間を「周期」という。

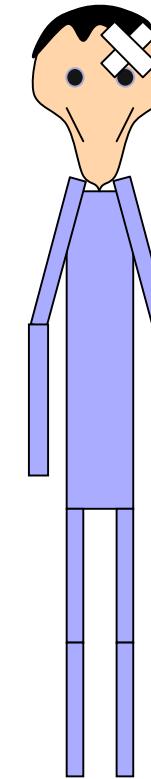
モノには一番揺れやすい周期がある。

これを**固有周期**という。

お相撲さんの腹
にも固有周期



長身で痩せた
人にも固有周期

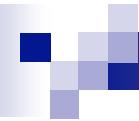




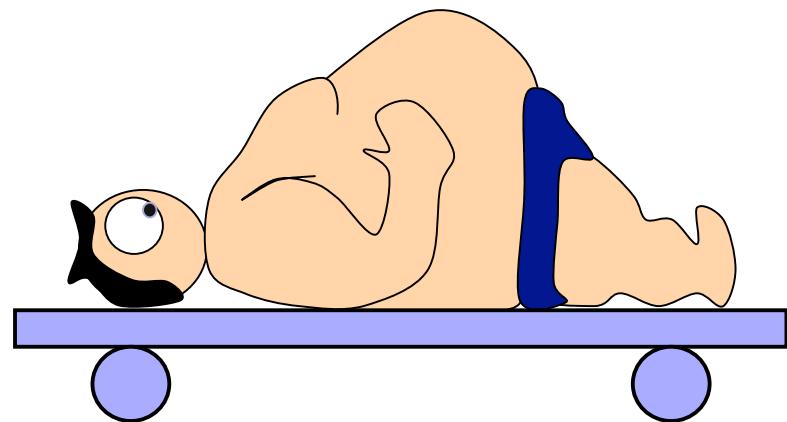
モノは

重いほど、やわらかいほど、ユラユラ揺れる
＝固有周期が長い

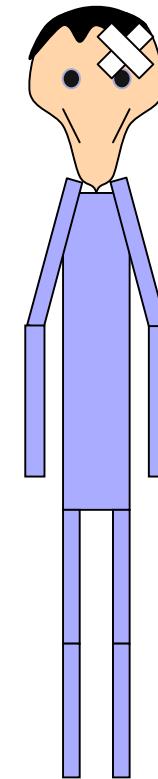
軽いほど、かたいほど、ガタガタ揺れる
＝固有周期が短い



お相撲さんの腹
は重い



長身で痩せた人は
やわらかい



どちらも固有周期が長い。だから共振した。

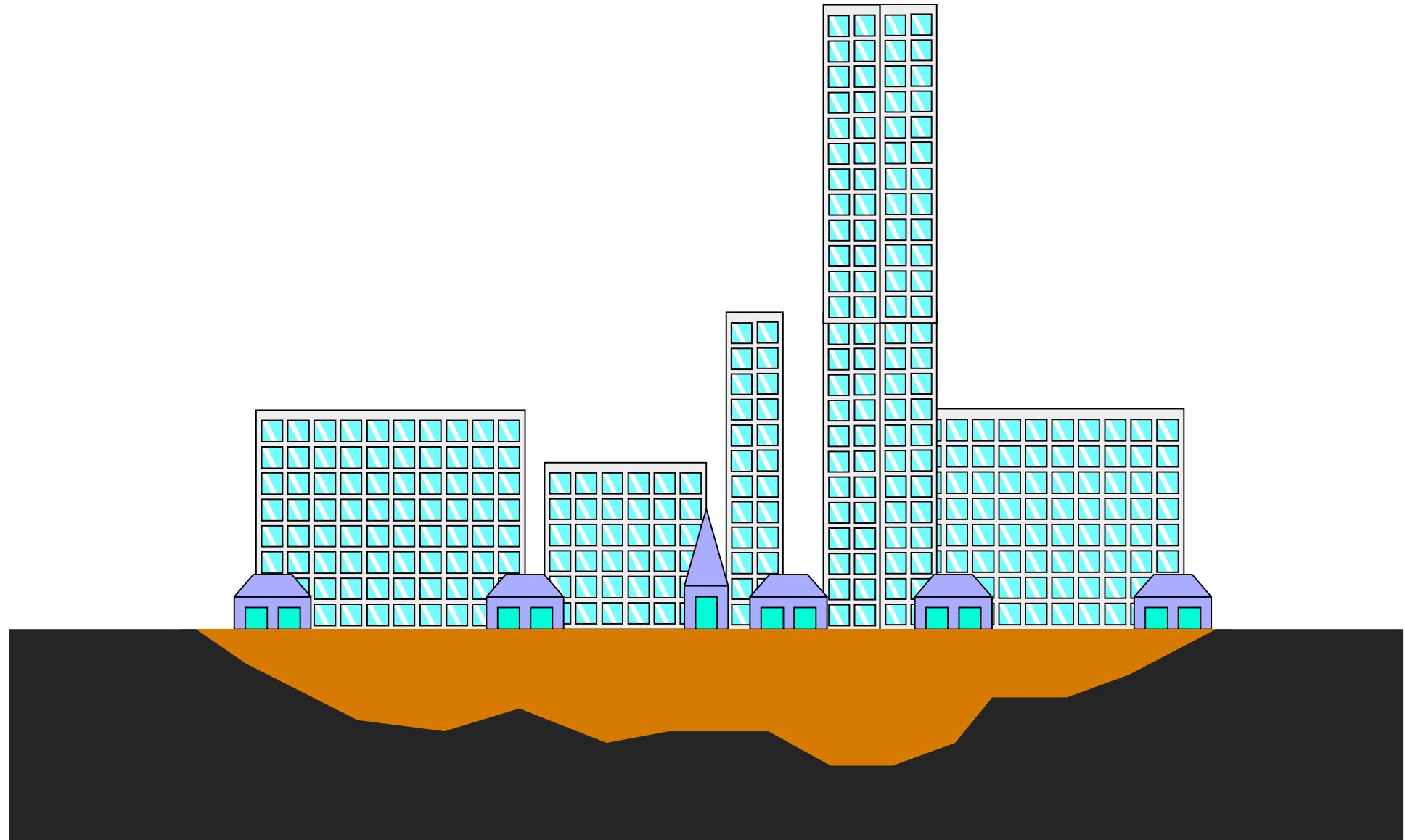
メキシコ市は、500年前まで湖だった。

湖を埋め立てて街をつくり、

大都会になった。

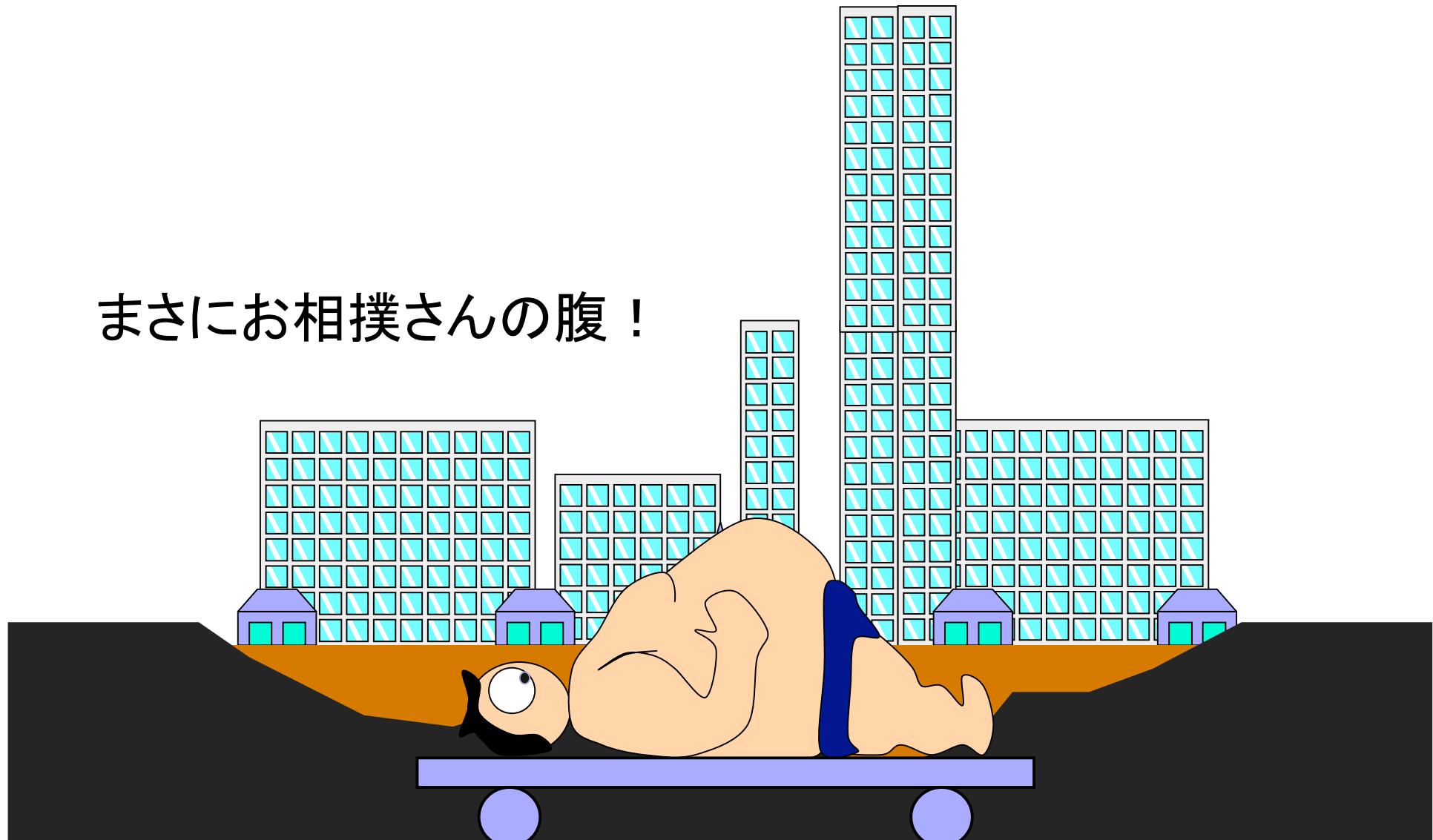


埋め立てた地盤は軟弱で、沈下しやすかった。



しかも揺れやすい！

まさにお相撲さんの腹！

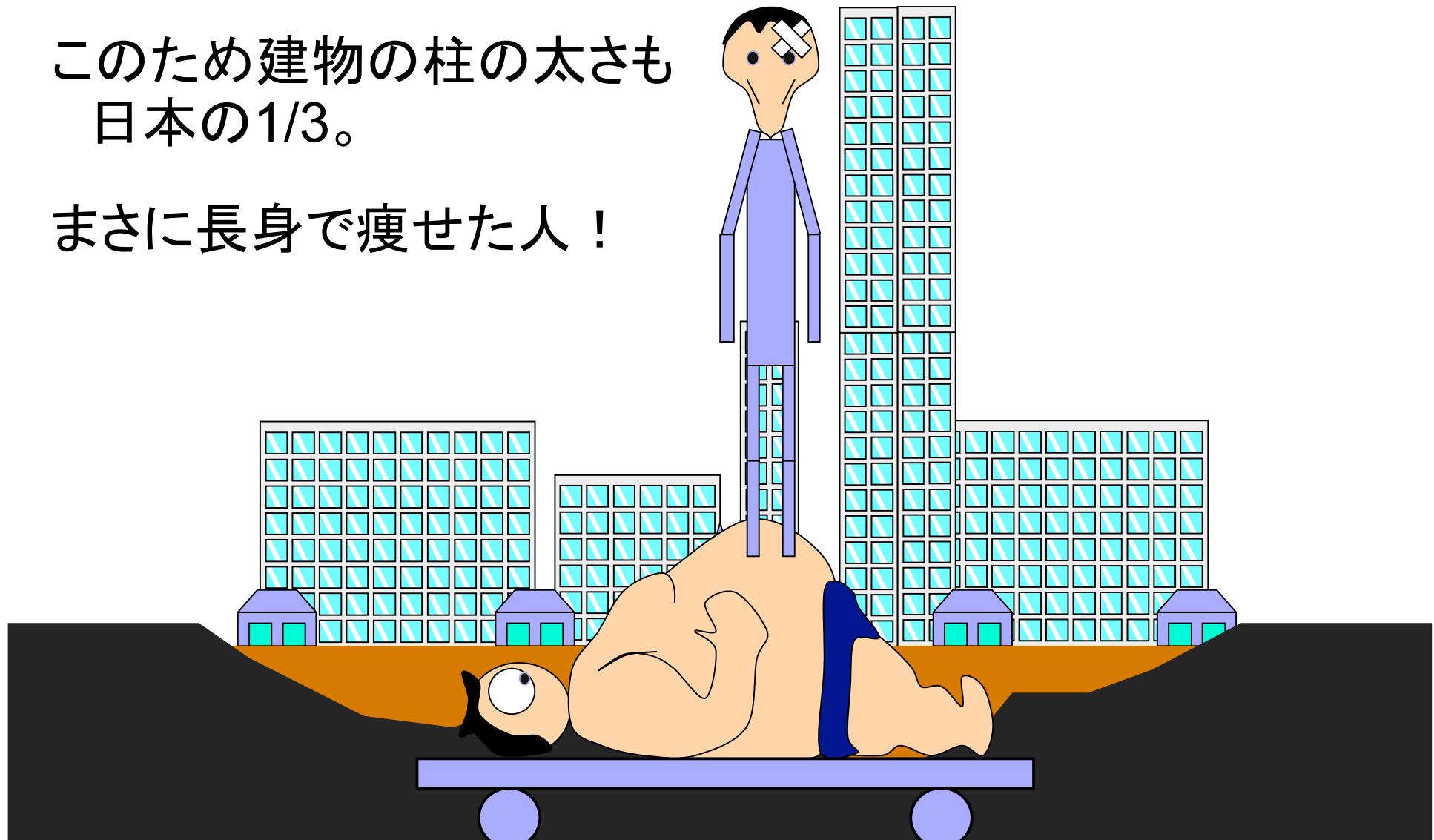


メキシコは地震が多い。

しかし1985年以前の地震は、日本の大地震の1/3の強さ。

このため建物の柱の太さも
日本の1/3。

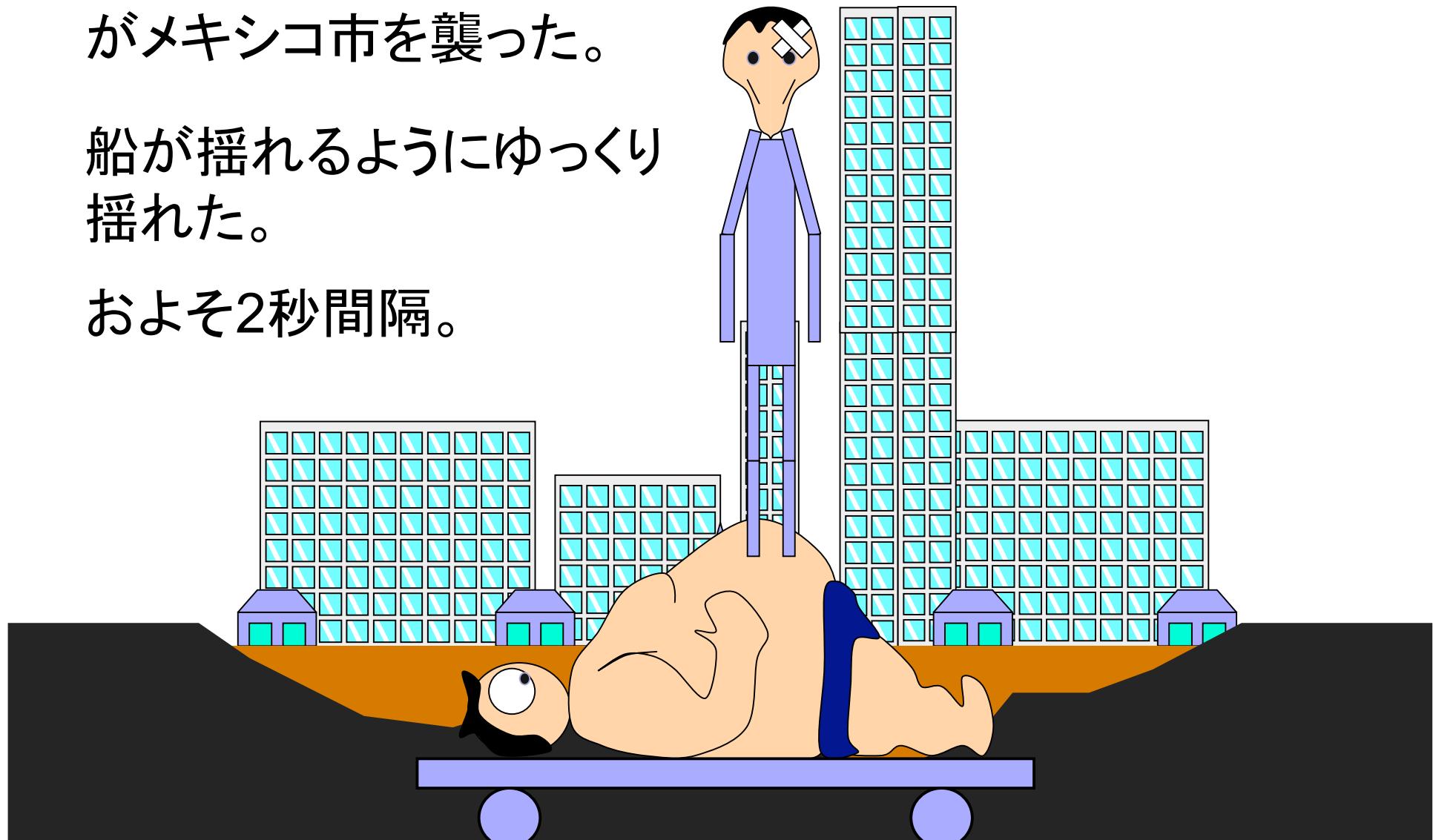
まさに長身で痩せた人！



1985年9月19日、それまでの地震の3倍の強さの地震がメキシコ市を襲った。

船が揺れるようにゆっくり揺れた。

およそ2秒間隔。

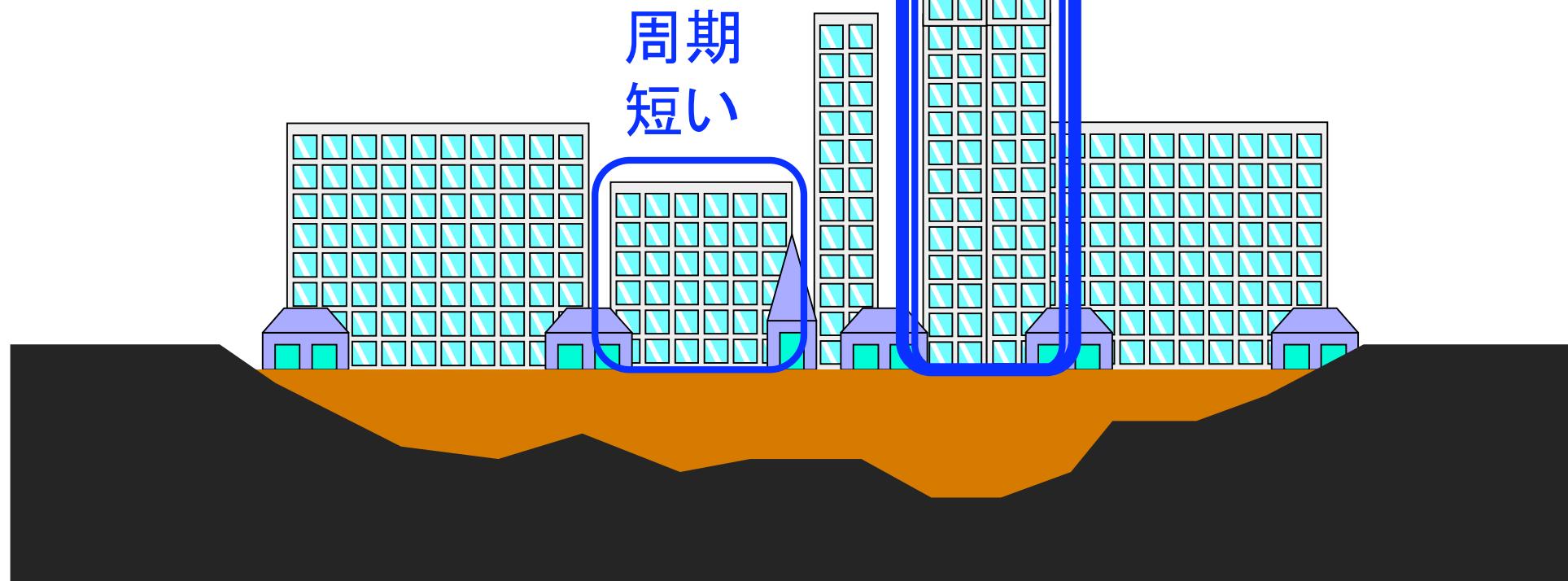


ここでクイズ

左の低い建物と右の高い建物では、どちらが周期が長いだろう？

答え：高い方が長周期

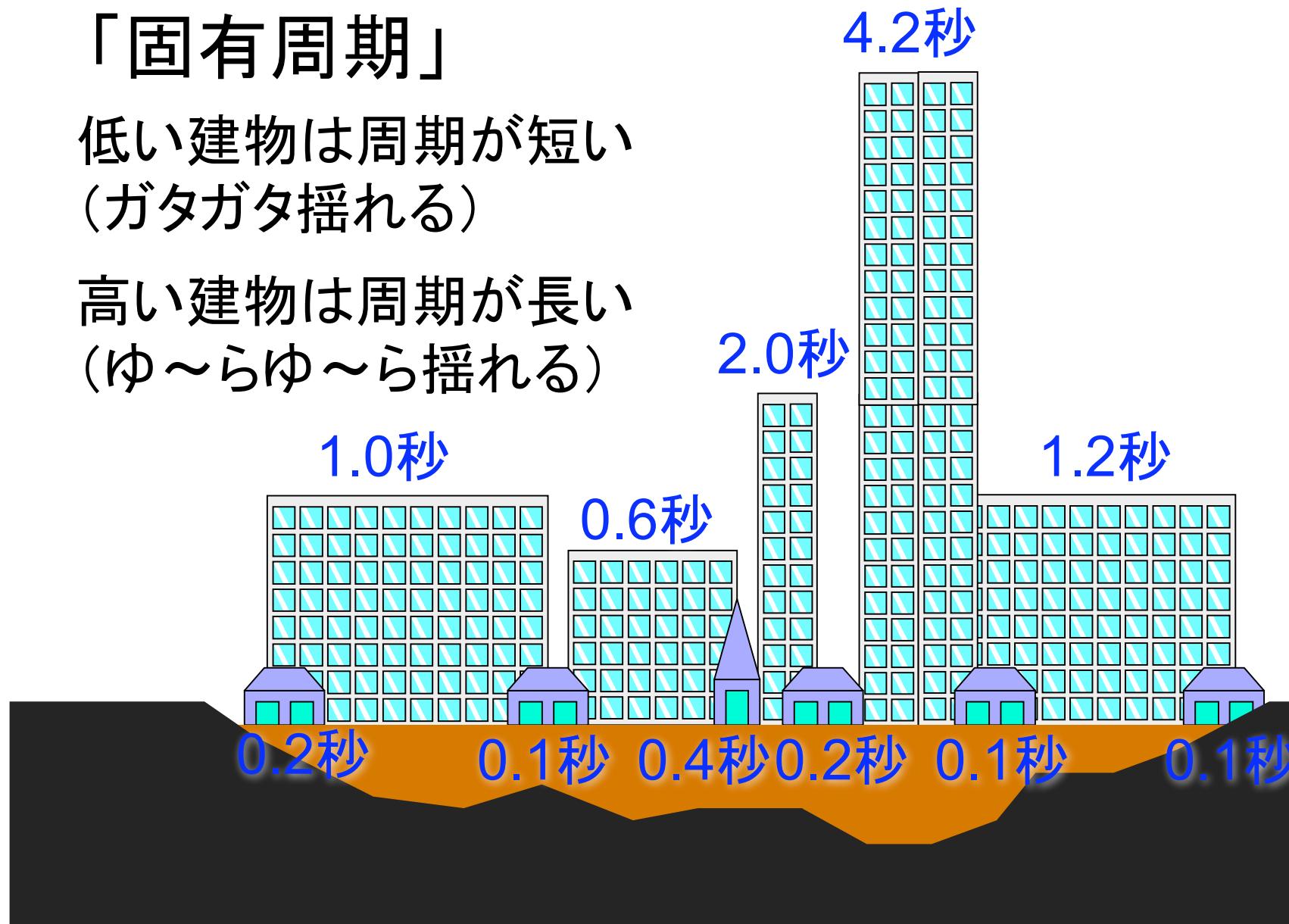
周期長い



建物にはそれぞれの
「固有周期」

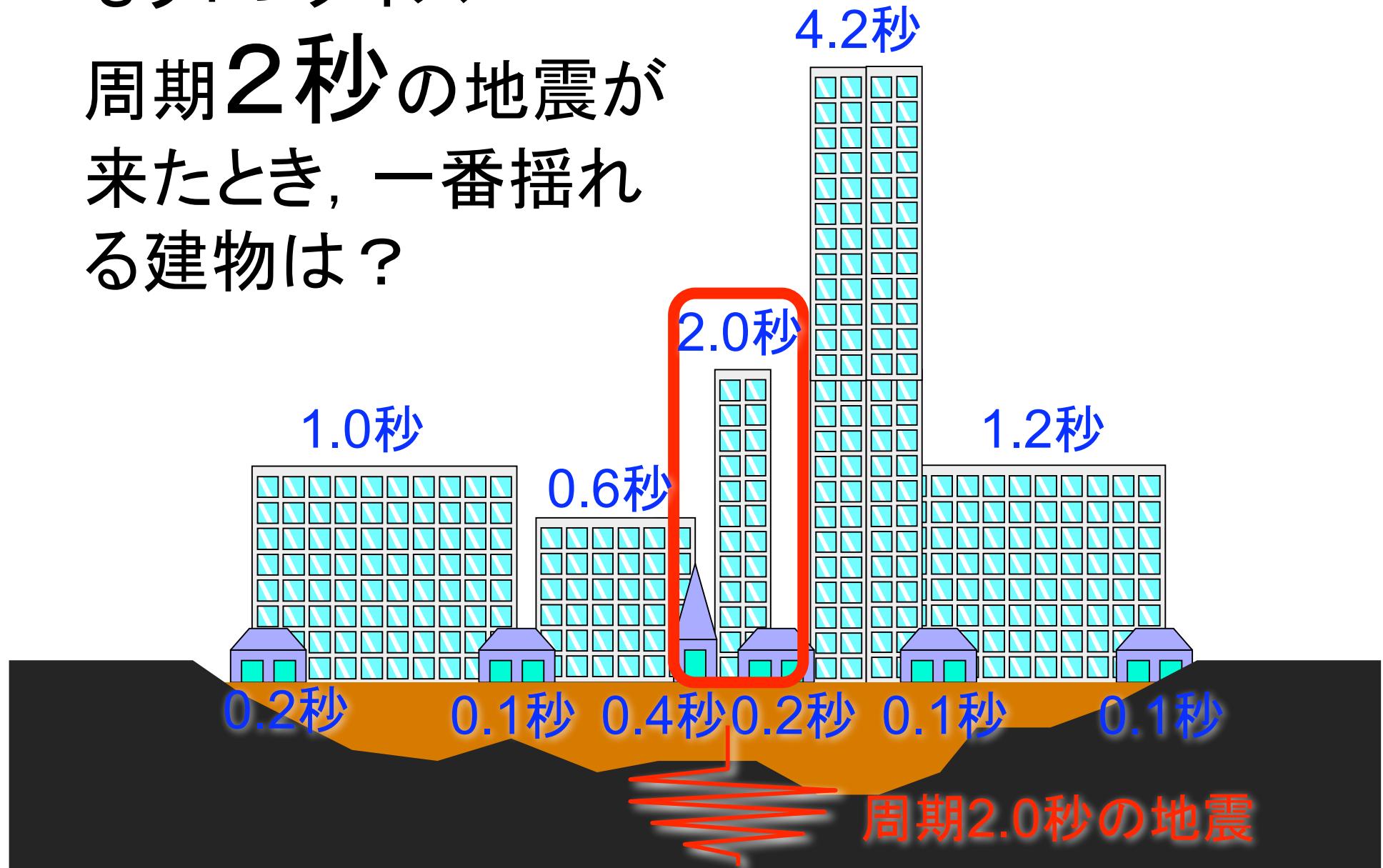
低い建物は周期が短い
(ガタガタ揺れる)

高い建物は周期が長い
(ゆ~らゆ~ら揺れる)



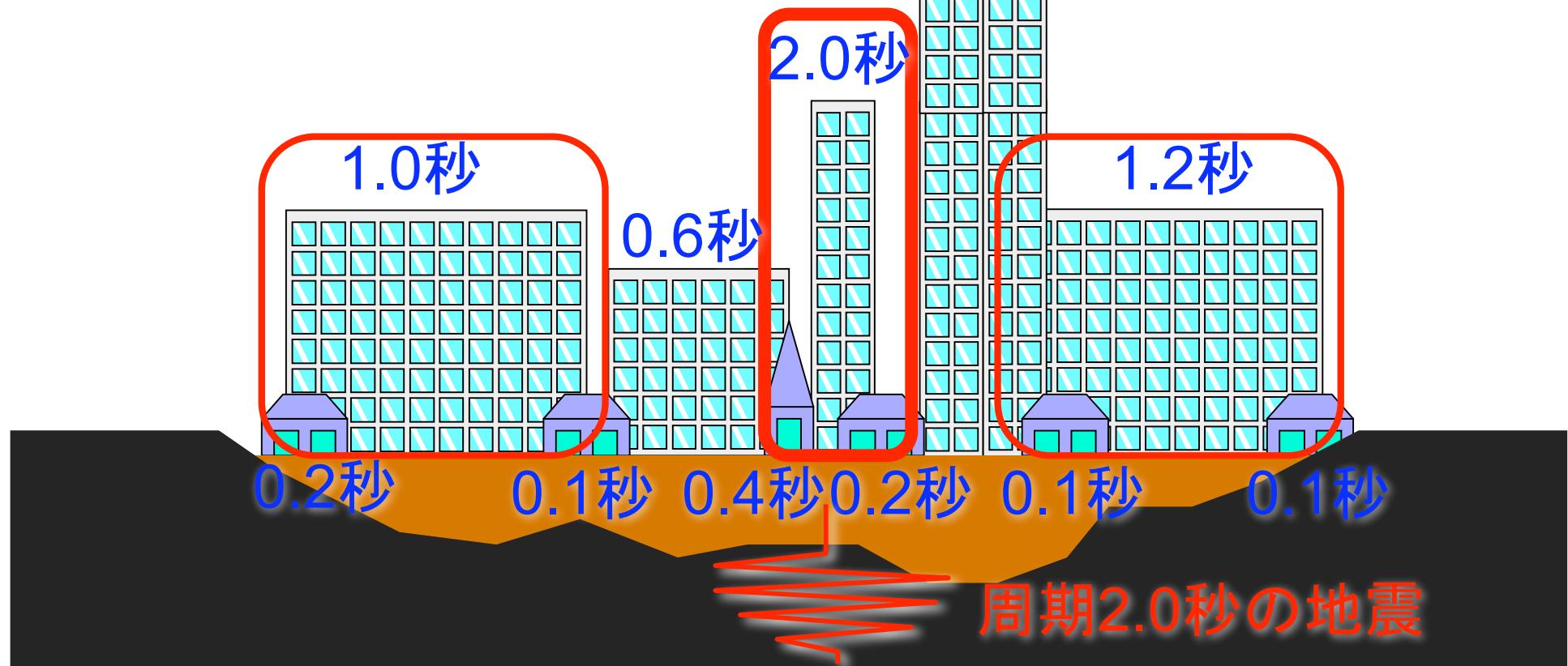
もう1つクイズ

周期2秒の地震が
来たとき、一番揺れ
る建物は？

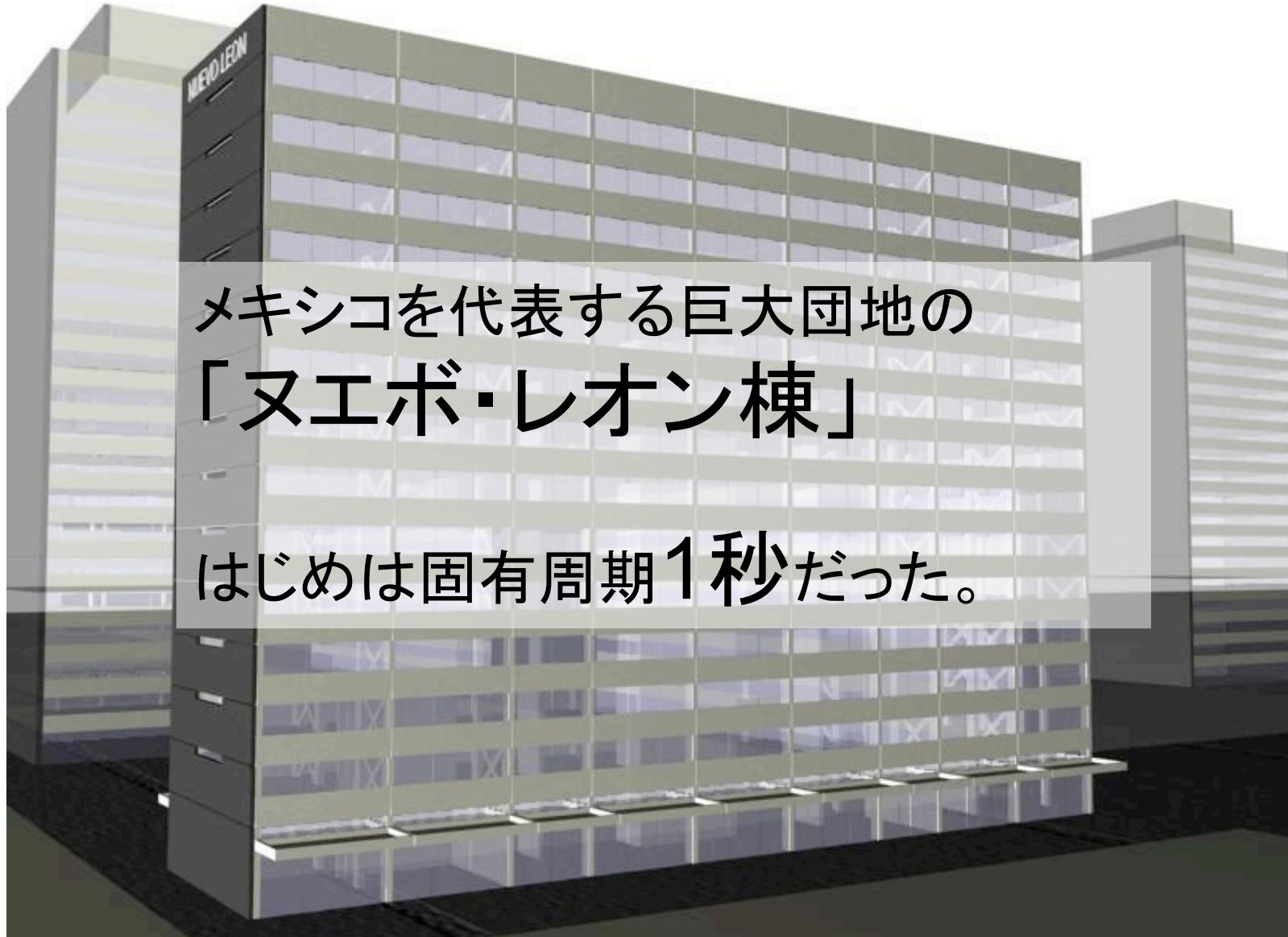


地震と同じ周期2秒の建物
が一番揺れやすい。

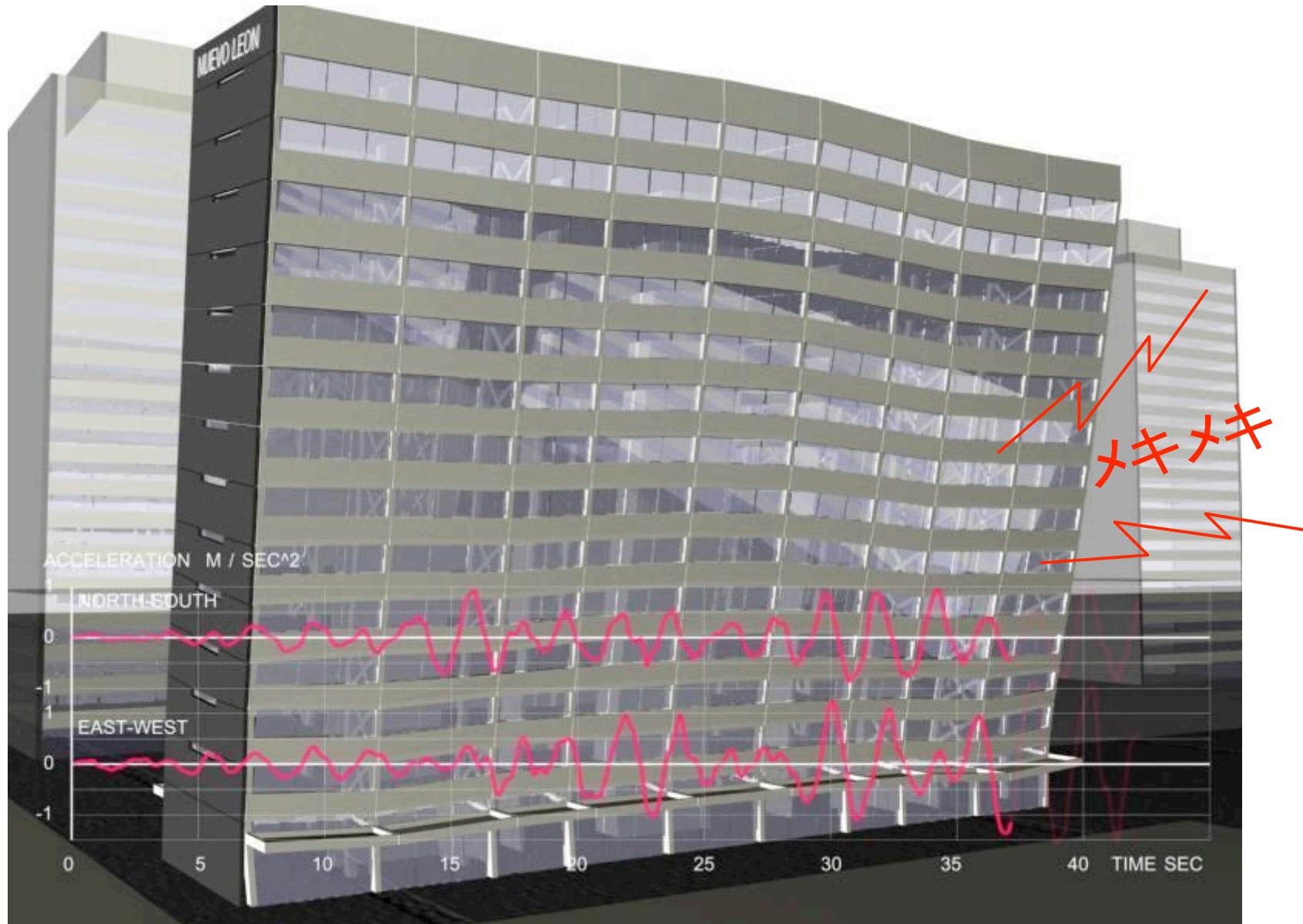
また地震周期の半分くらい
まで要注意。



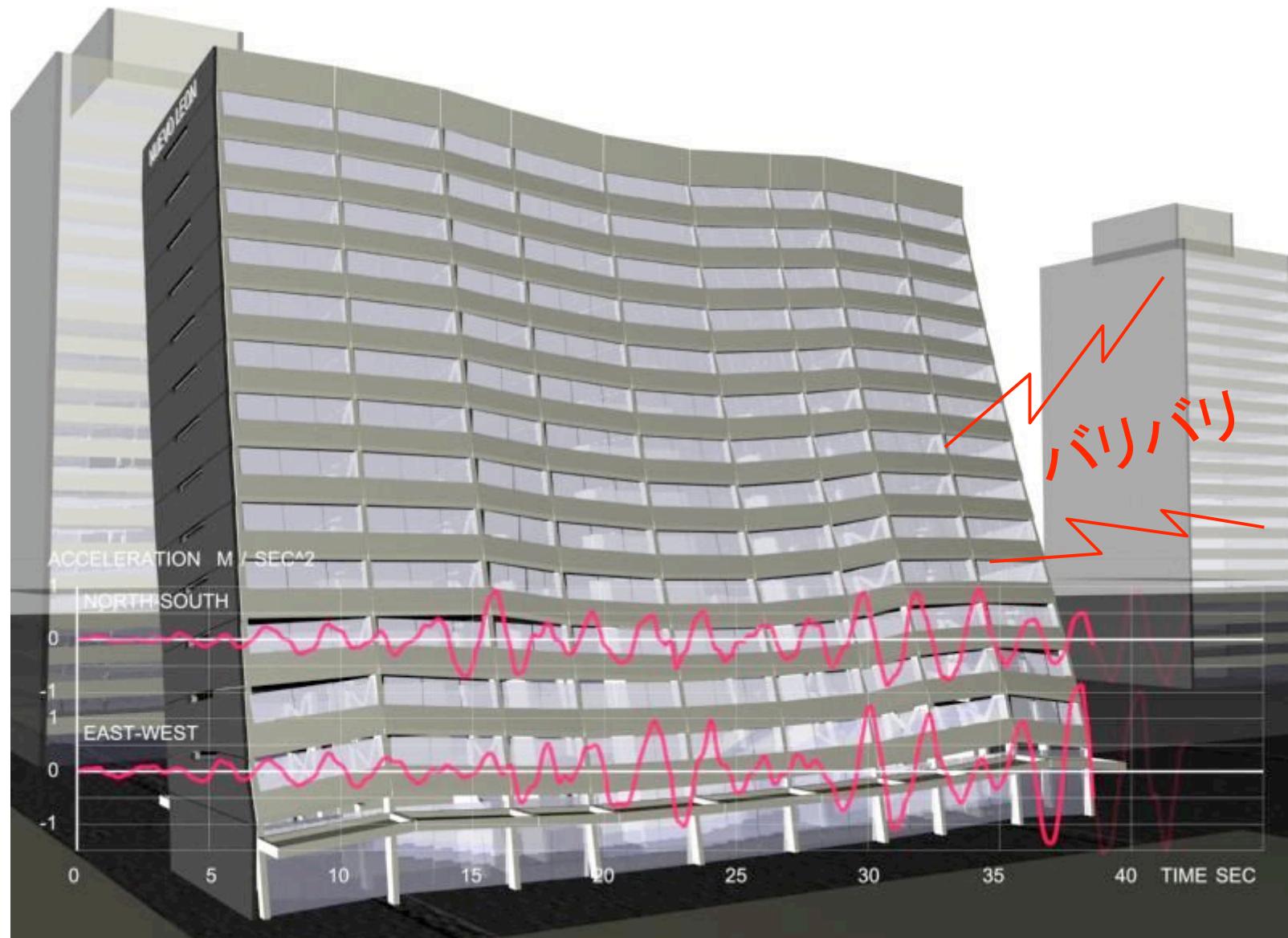
14階建て集合住宅の例



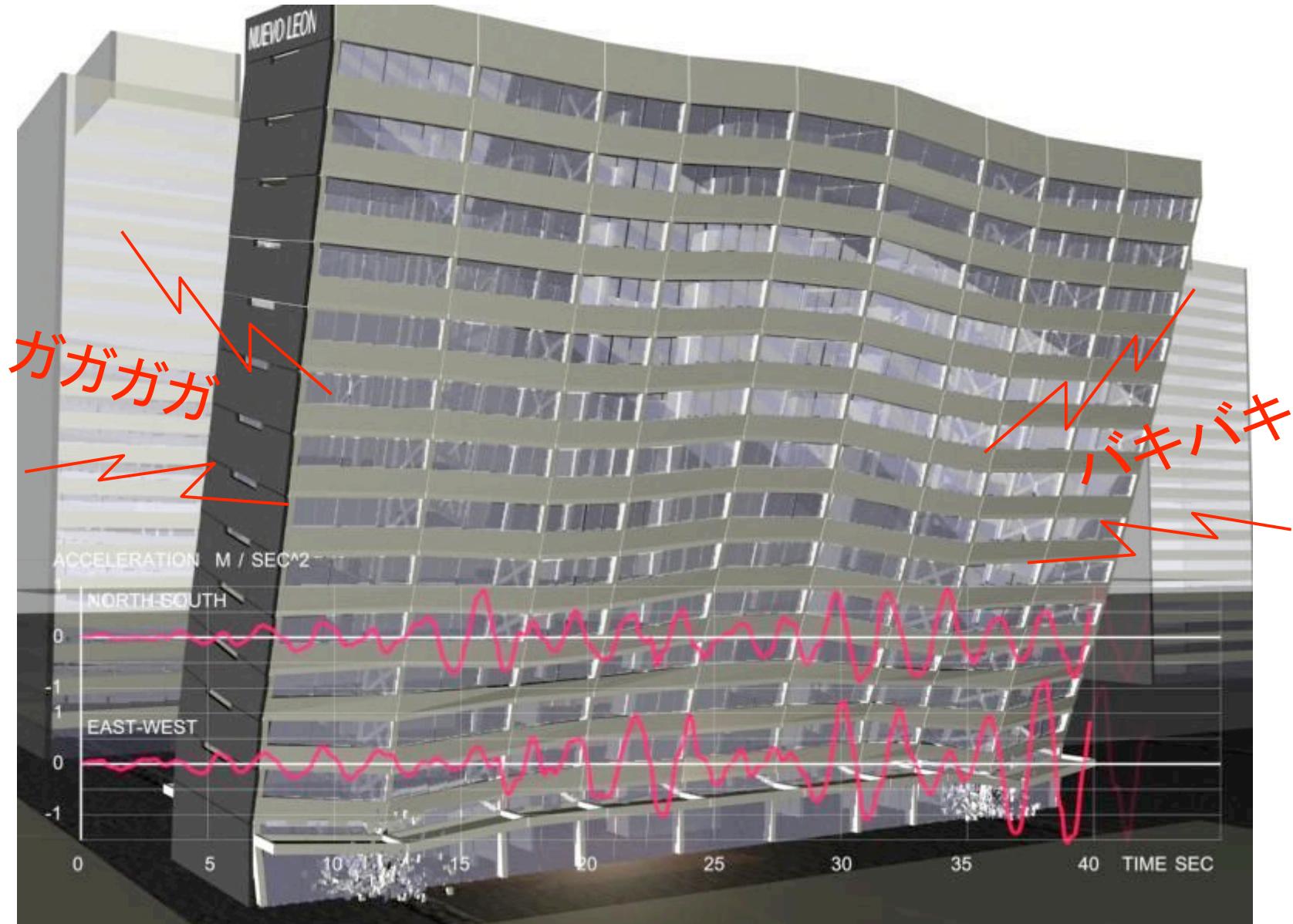
しかし地震で揺さぶられるうちに.....



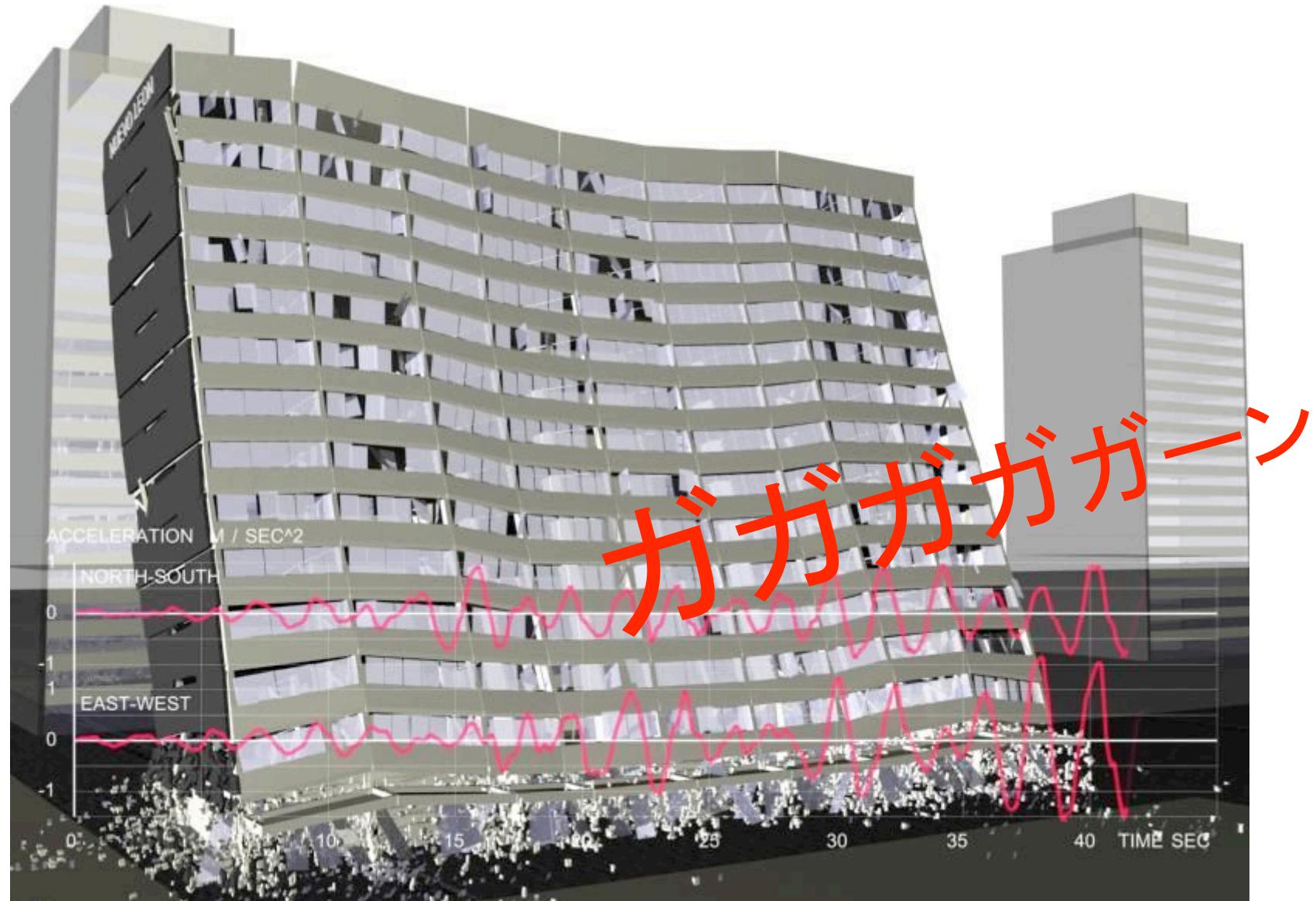
コンクリートにヒビが入って建物がやわらかくなり



複雑骨折した建物の周期が2秒に伸びてしまった！



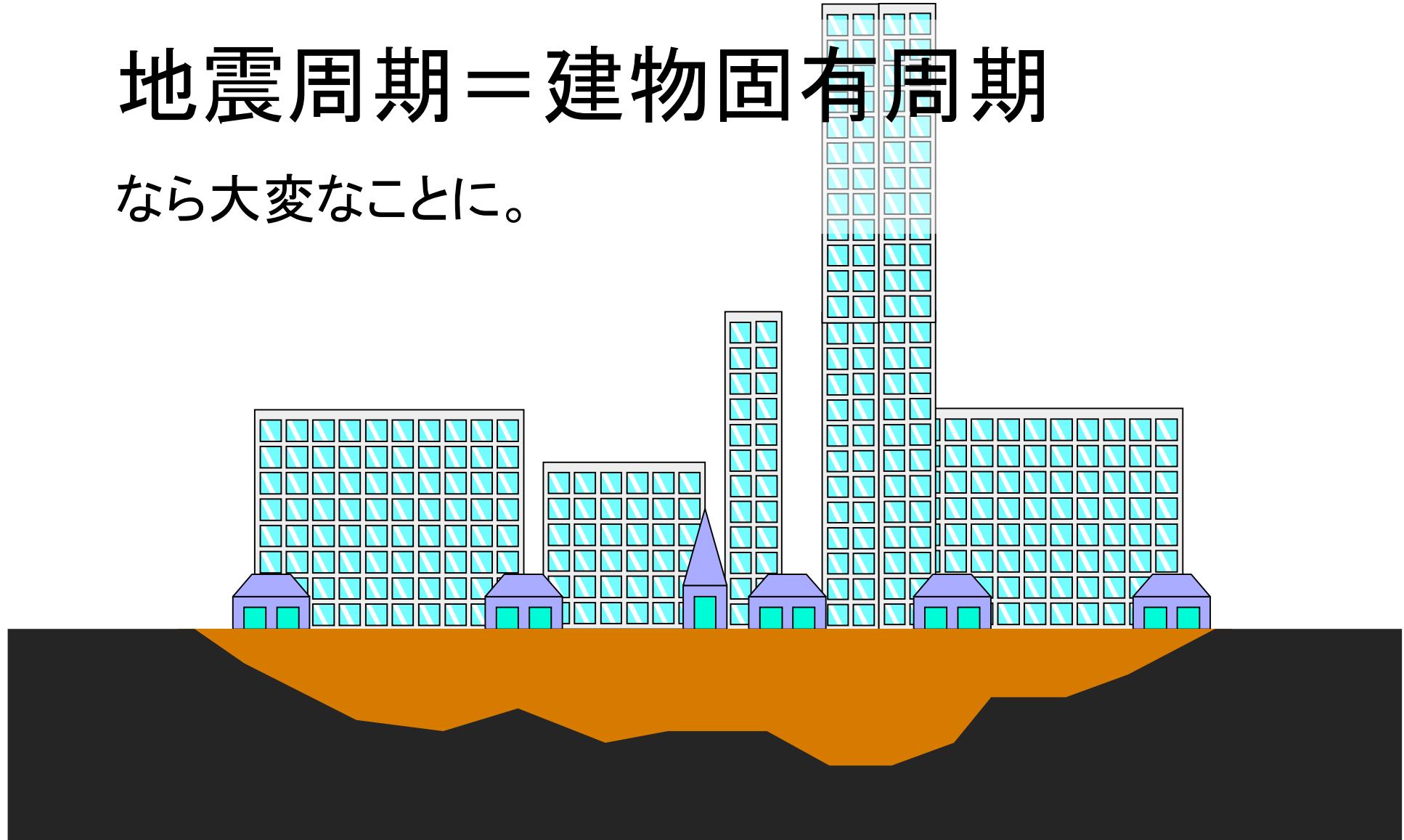
周期2秒の地震と共に振して倒壊！

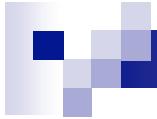


「震度」や「マグニチュード」が小さくても、

地震周期 = 建物固有周期

なら大変なことに。





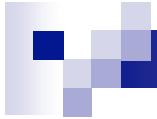
14階建ヌエボ・レオン棟の地震発生後の
固有周期は約2秒だった

日本の建物はどうだろう？

鉄筋コンクリート造マンションの固有周期
 $= \text{階数} \div 15$ (秒)

ちなみに鉄骨造オフィスビルの固有周期
 $= \text{階数} \div 8$ (秒)

同じ14階建マンションなら、固有周期は
 $14 \text{階} \div 15 = \text{約} 1 \text{秒}$



1985年メキシコ地震の周期は約2秒だった

日本で長周期の地震は起こる？

実はもう起きている。

2003年北海道十勝沖地震。

それほど強くないが、周期は3. 4秒。

23階建マンションや12階建オフィスビルの
固有周期。

重油タンクが共振し、金属同士の接触によ
る火花で火災発生。

将来起きそうな地震は？

この30年に起きそうな海溝性地震の周期：

| | | |
|-----|-------------|----------|
| 大阪 | : 4.8秒 | (32階) |
| 名古屋 | : 3.0秒 | (20階) |
| 東京 | : 1.5秒～5.3秒 | (10～36階) |

- 現在のマンションは、柱が太く、鉄筋の量も多い。
(姉歯マンションを除く)
- コンクリートのひび割れ・破壊が進行しにくく、周期も長くなりにくい。倒壊の可能性は非常に低い。
- しかし周期がどのくらい変化するか、ひび割れがどの程度でおさまるのか、実はよく分かっていない。
- 家具の固定、防災グッズの準備、お風呂に水を張る、普段からの近所のコミュニケーション等の対策は怠らないで。